

補足事項

●インボイス改正対応プログラムのポイント

・請求書の PDF 出力

インボイス対応プログラムから、「TYPE-3」以外は、運用開始前後に関係なく、複数選択した関与先分を 1 枚の PDF ファイルとして作成する事はできません。下図を参照にしてください。

●TYPE-1・TYPE-2

改正プロ	請求書	請求書・領収証（両方）	領収証
出力・プレビュー (PDF 以外)	<ul style="list-style-type: none"> ・運用開始前 選択した請求書番号（関与先コード・連番）を右上に出力します。 集計は指定した期間の関与先単位で作成します ・運用開始後 請求書 No 別に出力します。 *いずれも、請求書番号欄を空白にする事が可能です。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎請求書部分 <ul style="list-style-type: none"> ・運用開始前は選択した請求書番号（関与先コード・連番）を右上に出力します。集計は指定した期間の関与先単位で作成します。 ・運用開始後は請求書 No 別に出力します。 ◎領収証部分 <ul style="list-style-type: none"> ・運用開始前は、選択した領収証番号（関与先コード・連番）を右上に出力し、運用開始後はさらに「請求書 No」の選択が追加されます。後述参照請求書 No とペアにするには 1 集計期間 1 請求書 No で処理する事をお勧めします。 ・表示は、運用開始前の期間と運用開始日をまたがる期間は従来通り、運用開始後は消費税 10%を追記します。 ・集計は範囲指定した期間合算で出力します。 *請求書番号、領収証番号は空白にできます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・選択した領収証番号（関与先コード・連番）を右上に出力します。 *領収証番号は空白にできます。 ・表示は、運用開始前の期間と運用開始日をまたがる期間は従来通り、運用開始後は消費税 10%を追記します。 ・集計は範囲指定した期間合算で出力します。 *正本のみ/控のみ出力の場合は、上下別の内容で連続して出力します。
PDF の出力 ファイル名 (青字部分)	<ul style="list-style-type: none"> ・運用開始前 指定した期間の関与先単位で作成します。 [0001]ABC 商会_請求書 ・運用開始後 関与先別請求書 No 別に作成します。 [0001]ABC 商会_請求書 No0000000011 *いずれも、1PDF にまとめて作成する事はできません。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運用開始前 指定した期間の関与先単位で作成します。 [0001]ABC 商会_請求書（領収証付） ・運用開始後 関与先別、請求書 No 別に作成します。 [0001]ABC 商会_請求書（領収証付） No0000000011 *いずれも、1PDF にまとめて作成する事はできません。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運用開始前後に関係なく範囲指定分 1PDF で作成します。 領収証 *1 枚ずつ別のファイルで作成する事はできません。

●TYPE-3

改正プロ	正本、控	正本のみ・控のみ 改頁しない場合	正本のみ・控のみ 改頁する場合
出力・プレビュー (PDF 以外)	<ul style="list-style-type: none"> 運用開始前 選択した請求書番号 (関与先コード・連番)を右上に出力します。 運用開始後 請求書 No 別に出力します。 * 請求書番号は空白にできます。 	<ul style="list-style-type: none"> 運用開始前 選択した請求書番号 (関与先コード・連番)を右上に出力します。 運用開始後 請求書 No 別に出力します。 * 上下別の内容で連続して出力します。 * 請求書番号は空白にできます。 	<ul style="list-style-type: none"> 運用開始前 選択した請求書番号 (関与先コード・連番)を右上に出力します。 運用開始後 請求書 No 別に出力します。 * 請求書番号は空白にできます。 * 上下異なる関与先もしくは請求書 No の時は改頁します。 この場合、現在のところプレビューは上下連続した形で表示し、改頁しません。
PDFの出力 ファイル名 (青字部分)	<ul style="list-style-type: none"> 運用開始前 指定した期間の関与先 単位で作成します。 [0001]ABC 商会_請求書 運用開始後 関与先別請求書 No 別に作成します。 [0001]ABC 商会_請求書 No0000000011 * いずれも、1PDF に まとめて作成する事は できません。 	<ul style="list-style-type: none"> 運用開始前 指定した期間の関与先 単位で作成します。 請求書 運用開始後 関与先別請求書 No 別に作成します。 請求書 * いずれも、1PDF に まとめて作成します。 	<ul style="list-style-type: none"> 運用開始前 指定した期間の関与先 単位で作成します。 [0001]ABC 商会_請求書 運用開始後 関与先別請求書 No 別に作成します。 [0001]ABC 商会_請求書 No0000000011 * いずれも、1PDF 単位 で別々に作成します。

・請求書（領収証付）

運用開始後で上記請求書を出力する場合、請求書には適格請求書 No を表示しますが、領収証部分は、下記の選択内容を表示します。運用開始後は「請求書 No」の選択を可能としています。同じ関与先で同月に請求書が複数ある場合は、領収証は先頭の請求書 No で作成されます。例えば、日付を令和 05.10.01~05.10.31 関与先 A に請求書 101 と 102 の 2 枚ある場合は、領収証は 101 の 1 枚合算で作成されます。

* 請求書 No と領収証 No をそろえて作成したい場合は、同一関与先の同一月の請求書データは、必ず 1 つの請求書 No で入力するようにしてください。

●インボイス対応により従前にお使いの機能において注意点があります。

・複数月の範囲指定

従前は、指定した期間の請求書金額と、その期間に入金した金額を当月御入金額として差引御請求額を算出していましたが、インボイス対応プログラムからは下記にご注意ください。

◎運用開始日を跨いで請求書データと入金がある場合

運用開始前と運用開始後の請求書の様式が異なりますので、1枚の請求書として作成できません。当月御入金額は従来通りまとめて集計して両方の請求書に表示します。

運用開始前と開始後は別々の期間として指定してください。

◎運用開始後で同月に異なる請求書 No のデータと入金がある場合

インボイス後は請求書 No 別に作成しますが、当月御入金額は従来通りまとめて集計して両方の請求書に表示します。運用開始後は同月では請求書 No を1つに統一して作成する事をお勧めします。

例) 運用開始日令和5年10月1日

- ・請求 月日 09.01 1010 定期顧問料 請求書 No.未入力 50,000
- 月日 10.01 1010 定期顧問料 請求書 No.0000000001 50,000
- 月日 11.01 1010 定期顧問料 請求書 No.0000000002 50,000
- ・入金 月日 10.01 3か月分定期顧問料 150,000
- ・日付で 09.01~11.30 で出力 請求書 No.連番 1

1 頁	No.0001
I C S 商店様	
前月御入金額	0
当月御入金額	150,000
請求額	50,000
差引御請求金額	△100,000

2 頁	No.0000000001
I C S 商店様	
前月御入金額	50,000
当月御入金額	150,000
請求額	50,000
差引御請求金額	△ 50,000

3 頁	No.0000000002
I C S 商店様	
前月御入金額	100,000
当月御入金額	150,000
請求額	50,000
差引御請求金額	0

例) 運用開始日令和5年10月1日

- ・請求 月日 10.01 1010 定期顧問料 請求書 No.0000000001 50,000
- 月日 10.15 6010 その他書類作成料 請求書 No.0000000002 50,000
- ・入金 月日 10.31 10月分入金 100,000
- ・日付で 10.01~10.31 で出力

1 頁	No.0000000001
I C S 商店様	
前月御入金額	0
当月御入金額	100,000
請求額	50,000
差引御請求金額	△ 50,000

2 頁	No.0000000002
I C S 商店様	
前月御入金額	50,000
当月御入金額	100,000
請求額	50,000
差引御請求金額	0

以上